



Copyright Information

Creative Sound Blaster Audigy Creative Audio Software

本書の内容は、予告無く変更される場合があります。Creative Technology Ltd. の責務を表すものではありません。電氣的、又は、機械的の別やその形式、方法を問わず、どのような目的であれこの説明書のいかなる部分も Creative Technology Ltd. の書面による許可を得ることなく、複製したり伝送したりすることは出来ません。これには、写真複写や録音も含まれます。本書で説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもと供与されるものであり、ライセンス契約の条項に反してこれを使用したりコピーしたりすることは出来ません。ライセンス契約で特に許可されている場合を除き、ソフトウェアを他のメディアにコピーすることは、法律違反となります。ライセンス受諾者は、バックアップとしてソフトウェアのコピーを1部作成することが出来ます。

Copyright © 1998-2002 Creative Technology Ltd. All rights reserved.

第3版

2002年7月

Sound Blaster、及びBlasterは、アメリカ合衆国、その他の国、又は、その両方でのCreative Technology Ltd.の登録商標であり、Sound Blaster Audigyのロゴ、Sound Blaster PCIのロゴ、EAX ADVANCED HD、Multi-Environment、Environment Panning、Environment Reflections、Environment Filtering、Environment Morphine、Creative Multi Speaker Surround、Inspire、及びOozedは、同社の商標です。

E-Mu、及びSoundFontは、E-mu Systems, Inc.の登録商標です。Sandalwoodsは、Cambridge SoundWorks, Inc.の登録商標であり、Microreader、PC Works、及びFourPointSurroundは、同社の商標です。Microsoft、MS-DOS、及びWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。Dolby Laboratoriesの許可を受けて製造されています。Dolby、AC-3、Pro Logic、及びダブルDシンボルは、Dolby Laboratoriesの商標です。© 2001 Dolby Laboratories, All right reserved. その他の製品は、それぞれの所有者の商標、又は、登録商標です。

このカードは、以下の1つ、又は、それ以上の合衆国特許を受けています。

4,506,579; 4,699,038; 4,987,600; 5,013,105; 5,072,645; 5,111,727; 5,144,676; 5,170,369; 5,248,845; 5,298,671; 5,303,309; 5,317,104; 5,342,990; 5,430,244; 5,524,074; 5,698,803; 5,698,807; 5,748,747; 5,763,800; 5,790,837.

このマニュアルについて

Creative Sound Blaster Audigy Creative Audio Software

本書の内容は、予告無く変更される場合があります。Creative Technology Ltd. の責務を表すものではありません。電氣的、又は、機械的の別やその形式、方法を問わず、どのような目的であれこの説明書のいかなる部分も Creative Technology Ltd. の書面による許可を得ることなく、複製したり伝送したりすることは出来ません。これには、写真複写や録音も含まれます。本書で説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもと供与されるものであり、ライセンス契約の条項に反してこれを使用したりコピーしたりすることは出来ません。ライセンス契約で特に許可されている場合を除き、ソフトウェアを他のメディアにコピーすることは、法律違反となります。ライセンス受諾者は、バックアップとしてソフトウェアのコピーを 1 部作成することが出来ます。

重要： この PDF ファイルには、製品についての全般的な情報が収められています。以下でこの PDF ファイルを効率的に使用方法について示します。すなわち、アプリケーションやヘルプファイルの起動方法、専用用意されたリンク経由で関連 Web サイトへアクセスする方法などについて説明します。

- アプリケーションやヘルプを起動する場合、又は、関連する Web サイトへアクセスする場合には、**青色表示**された文字をクリックするか、オブジェクトやテキスト内に表示された  や  のシンボルをクリックします。
- この PDF ファイルでは、最適な表示が得られるようにデフォルトで [幅に合わせる] が設定されており、各ページの全内容を表示出来ます。文字がはっきり見えない場合には、Ctrl + <+> キーを押してズームインするか、Ctrl + <-> キーを押してズームアウトして下さい。全画面表示を行う場合には、Ctrl + <L> キーを押します。

注意： アプリケーションやヘルプファイルにアクセスするには、まずマニュアルとアプリケーションをコンピューターにインストールする必要があります。これを行わないと、エラーメッセージが表示されます。プログラムを起動するリンクをクリックしたときには、Adobe Acrobat によってアプリケーションが起動されることを示すダイアログボックスが表示されることがあります。[全て] ボタンをクリックすれば、その後のアプリケーションの起動時にこのメッセージは表示されなくなります。リンク先の Web サイトにアクセスするには、インターネットに接続する必要があります。

はじめに

最新のデジタルオーディオエンターテインメントの世界ようこそ	vii
EAX Advanced HD™ とは?	viii
同梱品について	ix
システム条件の確認	ix
Sound Blaster Audigy カード	ix
SB1394 アプリケーション、ゲーム、及び DVD 鑑賞	ix
関連情報	x
テクニカルサポート	x
表記の規則	x

1 ハードウェアの取り付け

用意するもの	1-1
Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデル各部の説明	1-2
Sound Blaster Audigy カード ゲームポートモデル各部の説明	1-3
ジョイスティック / MIDI ブラケット : Sound Blaster Audigy SB1394 モデル用	1-4
取り付け手順	1-5
ステップ 1 : ハードウェアの取り付け準備	1-5
ステップ 2 : Sound Blaster Audigy カードの取り付け	1-6
ステップ 3 : オーディオケーブルの接続	1-7
ステップ 4 : 電源の接続	1-7
関連周辺機器との接続	1-8
スピーカーシステムとの接続	1-10
AV アンプ (6 チャンネル) への接続	1-12
スピーカーの配置	1-14



2	ソフトウェアのインストール	
	ドライバとアプリケーションのインストール	2-1
	アプリケーションの削除、及び再インストール	2-2
	Windows 2000 (Service Pack 2) のアップデート	2-3
	Windows 98 SE のアップデート	2-3
	1394 ストレージの補助機能	2-3
	デジタルビデオアップデートのインストール	2-3
3	Sound Blaster Audigy のアプリケーション	
	Creative Sound Blaster Audigy オーディオアプリケーション	3-1
	Creative Diagnose	3-1
	Creative Surround Mixer	3-2
	Creative AudioHQ	3-2
	SoundFont コントロール	3-3
	デバイスコントロール	3-3
	Creative キーボード	3-3
	MIDI 入力	3-3
	EAX コントロール	3-3
	Creative Wave Studio	3-4
	Creative PlayCenter	3-4
	Creative Recorder	3-4
	Creative Restore Defaults	3-4
	Creative MiniDisc Center	3-5

4	アプリケーションの使用	
	マルチメディアの再生	4-1
	DVDの鑑賞	4-1
	MP3/WMA ファイルの再生	4-1
	Wave/CD Audio ファイルの再生	4-2
	MIDI ファイルの再生	4-2
	デジタルエンターテインメント	4-2
	サラウンドムービーの鑑賞	4-2
	自分だけのアルバムの編集	4-2
	コンテンツの作成	4-3
	ボイスエフェクツの適用	4-3
	サウンドとエフェクツの録音	4-3
	高度なコンテンツの作成	4-3
	デジタルハードディスク録音	4-3
	多数のエフェクツの作成	4-3
	インターネットエンターテインメント	4-4
	CDのオーディオトラックのMP3形式へのエンコード	4-4
	MP3ミュージックのダウンロードと再生	4-4
	EAX ADVANCED HDを適用したMP3ミュージックの再生	4-4
	ゲームリファレンス	4-5
	EAX ADVANCED HDサポートの活用	4-5
	DirectSound3Dサポートの活用	4-5
	A3D 1.0サポートの活用	4-5
	非3Dゲームのための環境のカスタマイズ	4-5

A	仕様	
	特徴	A-1
	PCIバスマスタリング	A-1
	Audigy プロセッサ	A-1
	高品位オーディオ処理	A-1
	プロ仕様のデジタルオーディオ処理	A-2
	柔軟なMixerコントロール	A-2
	ドルビーデジタル (AC-3) デコーディング	A-3
	Creative Multi Speaker Surround™ (CMSS™)	A-3
	SB1394™ 互換 : Sound Blaster Audigy SB1394 モデルのみ	A-3
	接続性	A-4
	Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデル	A-4
	オーディオ入力	A-4
	オーディオ出力	A-4
	SB1394 インタフェイス	A-5
	インタフェイス	A-5
	Sound Blaster Audigy カード ゲームポートモデル	A-6
	オーディオ入力	A-6
	オーディオ出力	A-6
	インタフェイス	A-6

B	トラブルシューティング	
	ソフトウェアのインストールに関する問題.....	B-1
	サウンドに関する問題.....	B-2
	不十分なSoundFontキャッシュ.....	B-6
	ジョイスティックに関する問題.....	B-6
	複数のオーディオデバイスに伴う問題.....	B-7
	Sound Blaster Live!シリーズに関する問題.....	B-9
	I/Oアドレスの競合の解決方法.....	B-10
	ソフトウェアDVDプレイヤーに関する問題.....	B-10
	Windows 98 SE/2000/MeのDVドライバに関する問題.....	B-11
	VIAチップセットのマザーボードの一部に見られるファイル転送の問題.....	B-12

Sound
BLASTER

はじめに



はじめに

最新のデジタル オーディオエンター テイメントの世界に ようこそ

Sound Blaster Audigy をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルでは、SB1394 接続機能を持つ Sound Blaster Audigy SB1394 モデルと、この機能のない Sound Blaster Audigy ゲームポートモデルの 2 つのモデルについて説明します。SB1394 のアプリケーションは、Sound Blaster Audigy SB1394 モデルにのみ使用出来ます。

Sound Blaster Audigy カードは、オンボード 24 ビット AD コンバータ (ADC) と DA コンバータ (DAC) の採用によって 96kHz のサポートを実現し、驚異的なサウンドを再生します。Sound Blaster Audigy カードのプロセッサは、EAX ADVANCED HD™ テクノロジーによるゲームや音楽の再生音を一層印象的にします。

又、SB1394 ポートの採用により、NOMAD ポータブルデジタルオーディオプレイヤー、外部 CD-RW ドライブ、デジタルビデオカメラ、ハードディスク、MO ドライブなどの IEEE1394 互換デバイスと簡単に高速接続出来ます。

Sound Blaster Audigy と豊富なバンドルソフトを組み合わせると、楽しみが際限なく広がります。

EAX Advanced HD™とは?



EAX ADVANCED HD は、新たなレベルのパフォーマンス、パワー、そして柔軟性を PC オーディオにもたらしめます。EAX ADVANCED HD は、増強された Sound Blaster Audigy プロセッサの処理能力を活用し、ゲームやミュージックを強化する数々の新しい Hi-Fi オーディオ機能を実現します。

全く新しい EAX ADVANCED HD ゲームオーディオライブラリは、ゲームのオーディオ音響をこれまでにないレベルにまで引き上げます。新たな Multi-Environment™ テクノロジーは、最大 4 つのオーディオ環境をリアルタイムでレンダリングします。Environment Panning™ は、3D による環境の空間拡張を可能にします。Environment Reflection™ は、初期反響やエコーを再現します。Environment Filtering™ は、開放された環境、及び閉鎖された環境の双方でサウンドの伝播を正確にシミュレートします。そして最後に、Environment Morphing™ は、ある環境から別の環境へのシームレスな移行を可能にします。革新的なこれらのテクノロジーにより、とてもしリアルで溢れ出るようなオーディオがゲームで実現されます。

優れた音響は、EAX ADVANCED HD のミュージックテクノロジーでも保証されます。オーディオクリーンアップ機能は、デジタルオーディオファイル内の不要なノイズの低減を可能にします。DREAM™ は、あらゆるステレオミュージックで「クラブ調」に強化されたサラウンドサウンドを生成します。タイムスケール機能は、歪みを生じさせることなく、ミュージックの再生速度を調節します。ミュージックの再生は、特別に開発された EAX ADVANCED HD のミュージックエフェクツによって、さらに強化されています。

EAX ADVANCED HD は、3D オーディオ性能を飛躍的に向上させ、優れたオーディオ忠実度と洗練されたリバースエフェクツで、Sound Blaster Audigy 製品群でのみ可能な、比類ないデジタルエンターテインメント体験を実現します。

同梱品について

製品パッケージの内容は以下のとおりです。

- Sound Blaster Audigy カード
- ジョイスティック / MIDI ブラケット (Sound Blaster Audigy SB1394 モデルのみ)
- Sound Blaster Audigy インストール CD

システム条件の確認

Sound Blaster Audigy カード

- Pentium® II 以上の Intel® 純正 CPU、Intel® Pentium® 100% 互換 CPU を使用した 100% DOS/V 互換 PC
- Intel® 純正のマザーボードチップセット、100% 互換マザーボードチップセット
- Windows® 98 Second Edition、Windows Me (Millennium Edition)、Windows 2000 (Professional 版の SP2 以降のみ)、又は、Windows XP
- 128MB 以上のメインメモリー
- 600MB 以上の HDD 空き容量
- PCI 2.1 仕様の空き PCI スロット 1 つ
- ジョイスティック / MIDI ブラケット用の空きブラケット 1 つ (Sound Blaster Audigy SB1394 モデルのみ)
- 空いている (シェアリングしていない) 使用可能な IRQ1 つ
- SB1394 用の IRQ1 つ (Sound Blaster Audigy SB1394 モデルの場合)
- ヘッドフォン、又は、アンプ内蔵スピーカー (別売)
- ソフトウェアインストール用の CD-ROM ドライブ
- インターネットにアクセス可能な環境 (オンラインユーザー登録やドライバのアップデートの為に必須)

SB1394 アプリケーション、ゲーム、及び DVD 鑑賞

- Intel® 純正 Pentium® II 350MHz 以上の CPU、又は、同等の性能を持つ Intel® Pentium® 100% 互換 CPU
- Intel、又は、Intel 100% 互換のマザーボードチップセット
- Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000 (Professional 版の SP2 以降のみ)、又は、Windows XP
- ゲームには 8MB 以上のビデオメモリーを持つ 3D グラフィックアクセラレーター
- デジタルビデオ編集には 128MB 以上のメインメモリー

- デジタルビデオのキャプチャー、編集には、Ultra DMA タイプのハードディスク (ATA-100、7,200rpm、20GB 以上を推奨) と数 GB 以上の空き領域を推奨。
- 第2世代以降 (6x 以上) のDVD-ROM ドライブとそのDVD-ROM に推奨されているソフトDVD プレイヤーは、Sound Blaster Audigy に対応している必要があります。対応状況については、それぞれソフトDVD プレイヤーの開発元、又は、販売元に事前にご確認下さい。

これ以外の用途には、より高いシステム要件が必要になる場合があります。各種の使用方法に対する要件についてはオンラインヘルプを参照して下さい。

関連情報

Sound Blaster Audigy のインストール CD には、ライブラリー、及びソフトウェアが含まれています。<http://japan.creative.com> のサイトを参照すれば、最新の Sound Blaster に関するニュースや製品を確認出来ます。又、このサイトでは、購入方法、テクニカルサポート、CreativeWare の更新などに関する情報が提供されています。

テクニカルサポート

全般的な質問については <http://japan.creative.com/soundblaster/support/faq/> のサイトを確認して下さい。

表記の規則

このガイドでは、必要な情報を探しやすくするために、以下の表記規則が使用されています。



ノート型のアイコンは、特に重要な情報を示しており、作業を続ける前に考慮しておく必要があります。



アラーム時計は、危険を伴う状況避けるために役立つ注意を表します。



警告のマークは、人体を傷つけたり、機器に恒久的なダメージを与える危険性を表します。

Sound
BLASTER

1

ハードウェアの取り付け

この章では、Sound Blaster Audigy ハードウェアの取り付け方法について説明します。

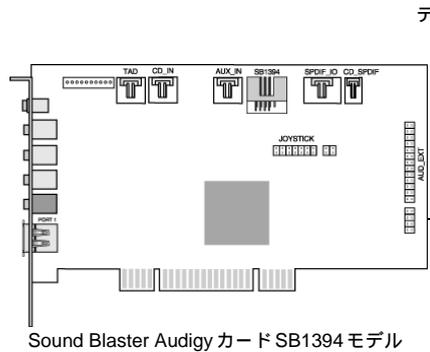
ハードウェアの取り付け

用意するもの

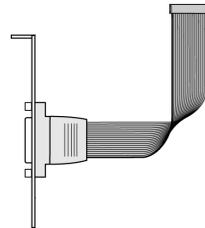
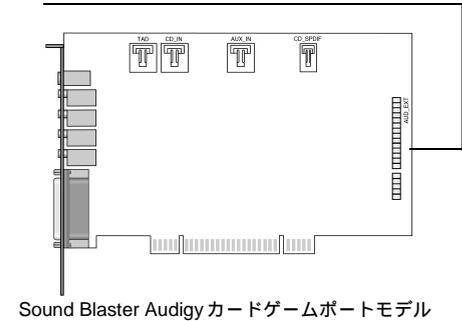


Sound Blaster AudigyカードSB1394モデルの場合、コンピューターに未使用のPCI スロットがあり、さらにその横のスロット1つも未使用である必要があります。

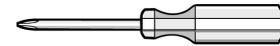
取り付けを行う前に、以下のパーツと工具がそろっているか確認して下さい。



又は



ジョイスティック / MIDI ブラケット
(Sound Blaster Audigy SB1394 モデルのみ)



プラスドライバー
(同梱されていません)

光デジタルインタフェースカードへの接続用。カードによっては、このコネクタがついていないモデルがあります。光デジタルインタフェースカードのアップグレードパッケージは、販売されていない国や地域があります。

Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデル 各部の説明



コネクタのピン割り当てについての詳細は、オンラインユーザーズガイドの「ハードウェア情報」を参照して下さい。



Line Out ジャック、及び Rear Out ジャックは、例えば Creative 製の 4.1/5.1チャンネルスピーカーシステムに使用することが出来ます。又、アナログ / デジタル出力ジャックは、5.1チャンネルスピーカーシステムのセンタースピーカー、及びサブウーファー (LFE) に使用することが出来ます。



カードによっては、ここに説明されているコネクタのいくつかがないモデルがあります。

SB Audigy カード SB1394 モデルには、他のデバイスを接続することが出来る以下のようなジャックやコネクタがあります。

CD Audio コネクタ (CD-IN)

アナログ CD オーディオケーブルを使用して CD-ROM や DVD-ROM ドライブのアナログオーディオ出力に接続します。

TAD コネクタ (TAD)

標準的なボイスモデムとモノラル接続します。

Creative 専用リザーブコネクタ

アナログ / デジタル出力ジャック

外部デジタル機器やデジタルスピーカーシステム接続用の 6 チャンネル、又は、AC-3 SPDIF 出力です。5.1 アナログスピーカーシステムを接続するためのセンタースピーカー、及びサブウーファーのアナログ出力もサポートします。

ライン入力ジャック (LIN_IN)

外付けデバイス (カセット、DAT、MiniDisc プレイヤーなど) に接続します。

マイク入力ジャック (MIC_IN)

音声入力用の外付けコンデンサマイクを接続します。

ライン出力ジャック (LIN_OUT1)

アンプ内蔵スピーカー、又は、外付けアンプを接続します。ヘッドフォンの接続も出来ます。4.1/5.1 スピーカーシステムを接続する場合は、フロントスピーカーを接続します。

リア出力ジャック (LIN_OUT2)

アンプ内蔵スピーカー、又は、外付けアンプを接続します。4.1/5.1 スピーカーシステムを接続する場合は、リアスピーカーを接続します。

AUX コネクタ (AUX_IN)

TV チューナーや MPEG カードなど、コンピューターに内蔵されているオーディオソースの出力を接続します。

内蔵 SB1394 ポート

Audigy Drive の J5 に接続します。

Creative 専用リザーブコネクタ

CD SPDIF コネクタ (CD_SPDIF)

CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブの SPDIF 出力 (デジタル CD オーディオ出力) を接続します。

SB1394 コネクタ

IEEE1394 互換の外部デバイスに接続します (デジタルビデオカメラ、ハードディスク、CD-RW ドライブ、MO ドライブ等、対応機種の詳細は弊社 Web サイトをご覧ください)。

ジョイスティック / MIDI コネクタ

ジョイスティック / MIDI プラケットを接続します。

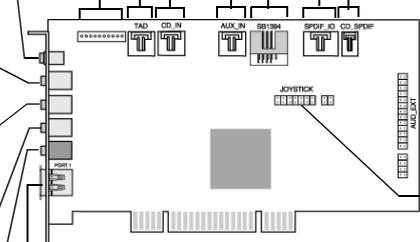


図 1-1 Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルのコネクタ、及びポート

Sound Blaster Audigy カード ゲームポート モデル各部の説明



カードによっては、ここに説明されているコネクタのいくつかについていないモデルがあります。

SB Audigy カードゲームポートモデルには、他のデバイスを接続することが出来る以下のようなジャックやコネクタがあります。

CD Audio コネクタ (CD-IN)

アナログCDオーディオケーブルを使用してCD-ROMやDVD-ROMドライブのアナログオーディオ出力に接続します。

TAD コネクタ (TAD)

標準的なボイスモデムとモノラル接続します。

アナログ/デジタル出力ジャック

外部デジタル機器やデジタルスピーカーシステム接続用の6チャンネル、又は、AC-3 SPDIF出力です。5.1アナログスピーカーシステムを接続するためのセンタースピーカー、及びサブウーファアのアナログ出力もサポートします。

ライン入力ジャック (LIN_IN)

外付けデバイス (カセット、DAT、MiniDisc プレイヤーなど) に接続します。

マイクロフォン入力ジャック (MIC_IN)

音声入力用の外付けコンデンサマイクを接続します。

ライン出力ジャック (LIN_OUT1)

アンプ内蔵スピーカー、又は、外付けアンプを接続します。ヘッドフォンの接続も出来ます。4.1/5.1スピーカーシステムを接続する場合は、フロントスピーカーを接続します。

リア出力ジャック (LIN_OUT2)

アンプ内蔵スピーカー、又は、外付けアンプを接続します。4.1/5.1スピーカーシステムを接続する場合は、リアスピーカーを接続します。

AUX コネクタ (AUX_IN)

TVチューナーやMPEGカードなど、コンピューターに内蔵されているオーディオソースの出力を接続します。

CD SPDIF コネクタ (CD_SPDIF)

CD-ROM、又は、DVD-ROMドライブのSPDIF出力 (デジタルCDオーディオ出力) を接続します。

ジョイスティック / MIDI コネクタ

ジョイスティック / MIDI デバイスに接続します。オプションのMIDIアダプターをご購入いただくと、標準DINコネクタへ変換することが出来ます。

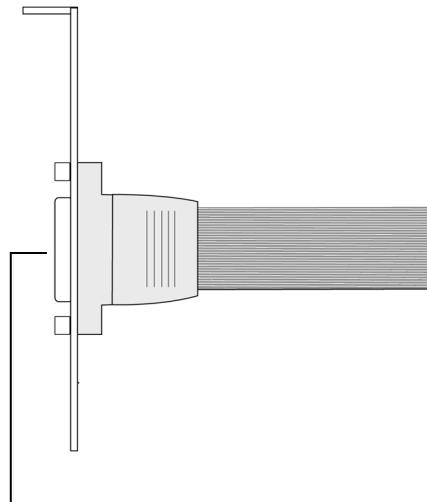
図 1-2 Sound Blaster Audigy カードゲームポートモデルのコネクタ、及びポート

ジョイスティック / MIDI ブラケット : Sound Blaster Audigy SB1394 モデル用



パッケージの種類によっては、
ジョイスティック / MIDI ブラ
ケットが付属していないものが
あります。

ジョイスティック / MIDI ブラケットは、ジョイスティック / MIDI デバイスと接続出来るコネクタがあります。



ジョイスティック / MIDI コネクタ

ジョイスティックや MIDI デバイスを接続します。オプションの MIDI アダプターをご購入いただくと、標準 DIN コネクタへ変換することができます。



ブラケットの背面

図 1-3 ジョイスティック / MIDI ブラケットのコネクタ

取り付け手順

ステップ1： ハードウェアの 取り付け準備



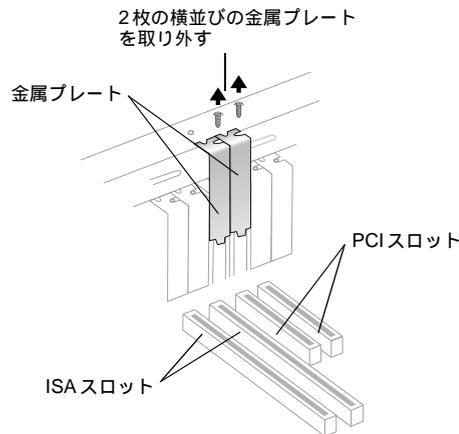
主電源を切って、コンピューターの電源コードを抜きます。ATXの電源ユニットを使用するシステムでソフトによる電源の切断を行った場合、PCIスロットへの電源供給が持続される場合があります。この際、スロットにサウンドカードを挿入すると、カードを破壊する可能性があります。



既存のサウンドカードが装着されている場合は、ドライバソフトウェアをアンインストールして、カードを全て取り外し、オンボードのオーディオ機能を無効にしてください。詳細については、B-7ページの「複数のオーディオデバイスに伴う問題」を参照して下さい。

1. コンピューターと周辺機器全ての電源を切ります。
2. コンピューターの金属部に触れ、身体に帯電した静電気を放電し、電源コードを壁のコンセントから抜き取ります。
3. コンピューターのカバーを取り外します。
4. 空いているPCI拡張スロットから図1-4のように金属プレートを取り外します。ネジは後で使用するので、別に保管しておきます。

Sound Blaster Audigy
SB1394モデルの場合



Sound Blaster Audigy
ゲームポートモデルの場合

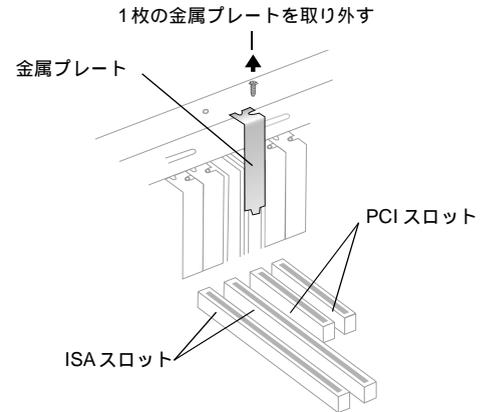


図1-4 金属プレートの取り外し

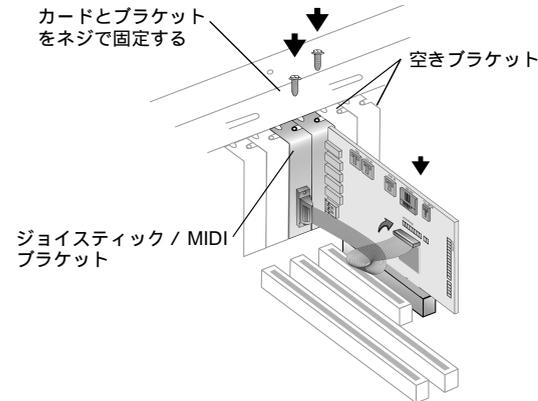
ステップ2： Sound Blaster Audigyカードの 取り付け



カードを無理に PCI スロットに押し込まないで下さい。カードがスロット内に適切に収まらない場合は、一度カードを抜き取り、スロットに挿しなおして下さい。

1. 空いている PCI 拡張スロットにカードの位置を合わせ、図 1-5 のようにして無理な力をかけずに均等に Sound Blaster Audigy カードをスロット内に押し込みます。カードが確実に PCI 拡張スロット内部に収まっていることを確認します。

Sound Blaster Audigy
SB1394 モデルの場合



Sound Blaster Audigy
ゲームポートモデルの場合

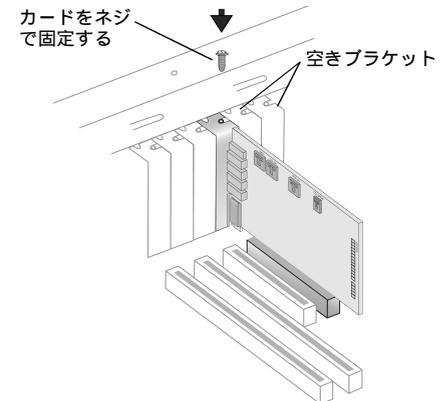


図 1-5 PCI 拡張スロットへの Audigy カードの取り付け

2. 取っておいたネジの1つで Audigy カードを固定します。
3. ジョイスティックか MIDI デバイスを Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルに接続する場合には、ジョイスティック / MIDI ブラケットをもうひとつのネジで Sound Blaster Audigy カードの隣に固定します。
4. ジョイスティック / MIDI ケーブルを Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルのジョイスティック / MIDI コネクタに接続します。図 1-5 を参照して下さい。

ステップ3： オーディオケーブル の接続



Sound Blaster Audigy カードを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブの CD SPDIF と CD オーディオコネクタの両方に接続する場合には、Surround Mixer で [CD (オーディオ)] と [CD (デジタル)] オプションの両方を同時に有効にしないで下さい。



パッケージによってはアナログ、及びデジタル CD オーディオケーブルが付属していない場合があります。必要な場合には、別途、パソコンショップでお買い求め下さい。

CD のアナログオーディオ出力：

- ▶ アナログ CD オーディオケーブルを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブのアナログオーディオコネクタから Sound Blaster Audigy カードの CD_IN コネクタに接続します。図 1-6 を参照して下さい。

CD のデジタルオーディオ出力：

- ▶ デジタル CD オーディオケーブルを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブのデジタルオーディオコネクタから Sound Blaster Audigy カードの CD_SPDIF コネクタに接続します。図 1-6 を参照して下さい。

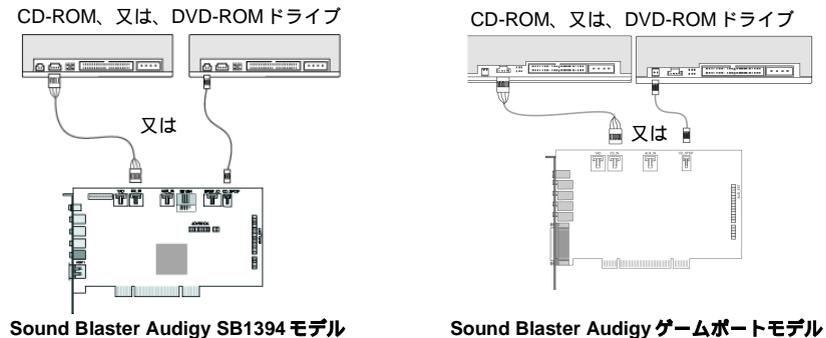


図 1-6 ドライブの接続

ステップ4： 電源の接続

1. コンピューターのカバーを取り付けます。
2. 電源コードをコンセントに接続し、コンピューターの電源を入れます。

Sound Blaster Audigy を他のデバイスに接続する方法については、1-8 ページの「関連周辺機器との接続」を参照して下さい。

ドライバとソフトウェアのインストールについては、2-1 ページの「ドライバとアプリケーションのインストール」を参照して下さい。

関連周辺機器との接続

Sound Blaster Audigy は、快適なリスニング空間を創造します。図 1-7 は、関連周辺機器を Sound Blaster Audigy SB1394 モデルに、図 1-8 は、関連周辺機器を Sound Blaster Audigy ゲームポートモデルに接続して最適な環境を構築する方法を示しています。

アナログ / デジタル出力コネクタ

アナログモード：センタースピーカー、及びサブウーファーに接続します。

デジタルモード：DIN ケーブルを使用して、デジタルスピーカーに接続します。

カセット、CD プレイヤー、シンセサイザー等

Line-out

コンデンサー
マイクロフォン

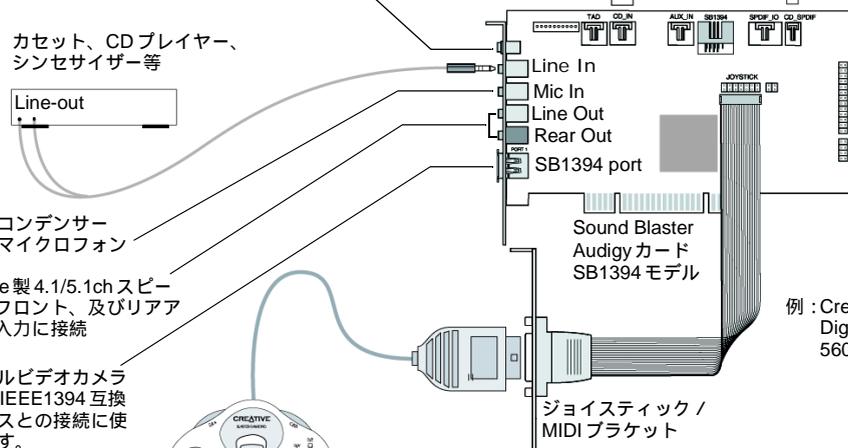
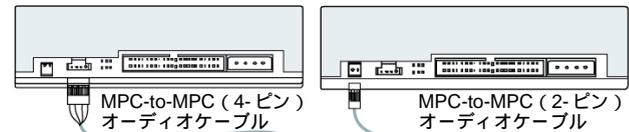
Creative 製 4.1/5.1ch スピーカーのフロント、及びリアアナログ入力に接続

デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 互換デバイスとの接続に使用します。



ゲームパッド

CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブ

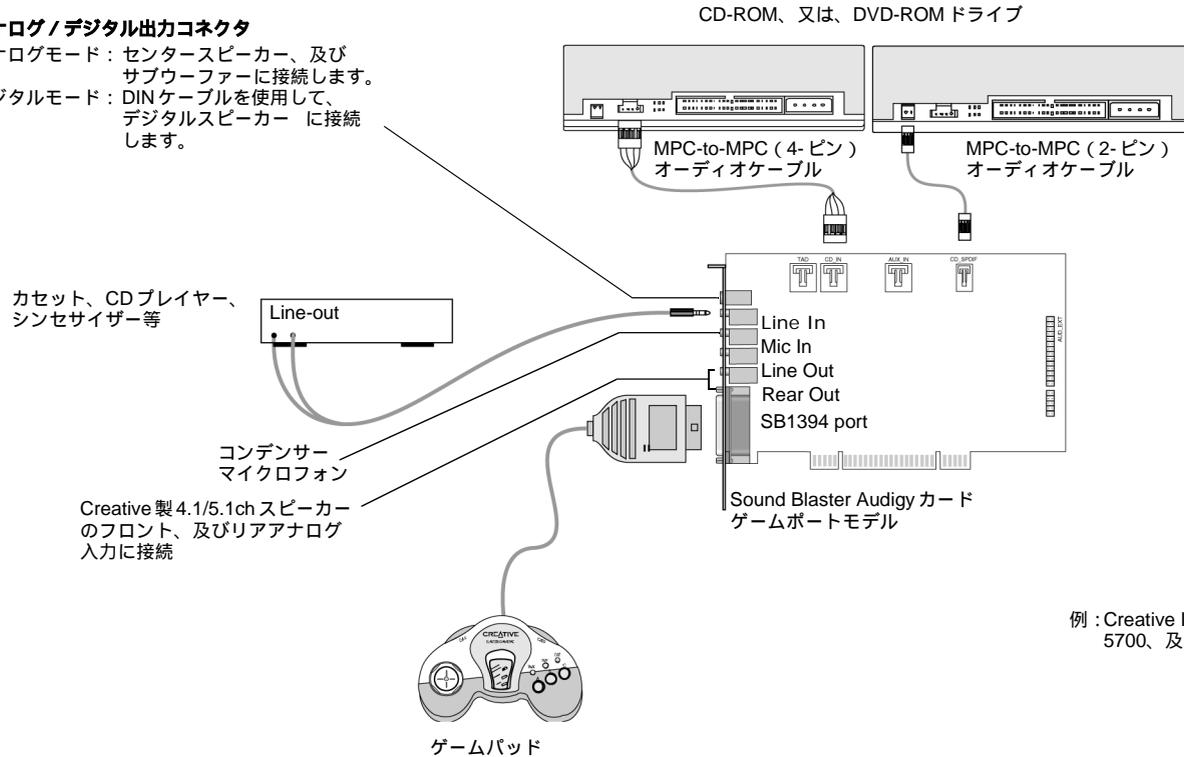


例：Creative Inspire 5.1 Digital 5700、及び 5600 スピーカー

図 1-7 Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルとその他の機器の接続

アナログ/デジタル出力コネクタ

アナログモード：センタースピーカー、及びサブウーファーに接続します。
 デジタルモード：DINケーブルを使用して、デジタルスピーカーに接続します。



例：Creative Inspire 5.1 Digital 5700、及び 5600 スピーカー

図 1-8 Sound Blaster Audigy カードゲームポートモデルとその他の機器の接続

スピーカーシステムとの接続

アナログ/デジタル出力ジャックのアナログとデジタルのモードを切り替える方法については、Creative Surround Mixer の[オンラインヘルプ](#)の「デジタル出力のみ」を参照して下さい。

5.1 チャンネルのスピーカーシステムをお持ちの場合には、Creative Multi Speaker Surround (CMSS) の使用によって、CD オーディオ、MP3、WMA、MIDI、Wave などのステレオの音源を 5.1 チャンネルにアップミックスすることが出来ます。アップミックスする場合には、PlayCenter の CMSS の機能を有効にする必要があります。PlayCenter の[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

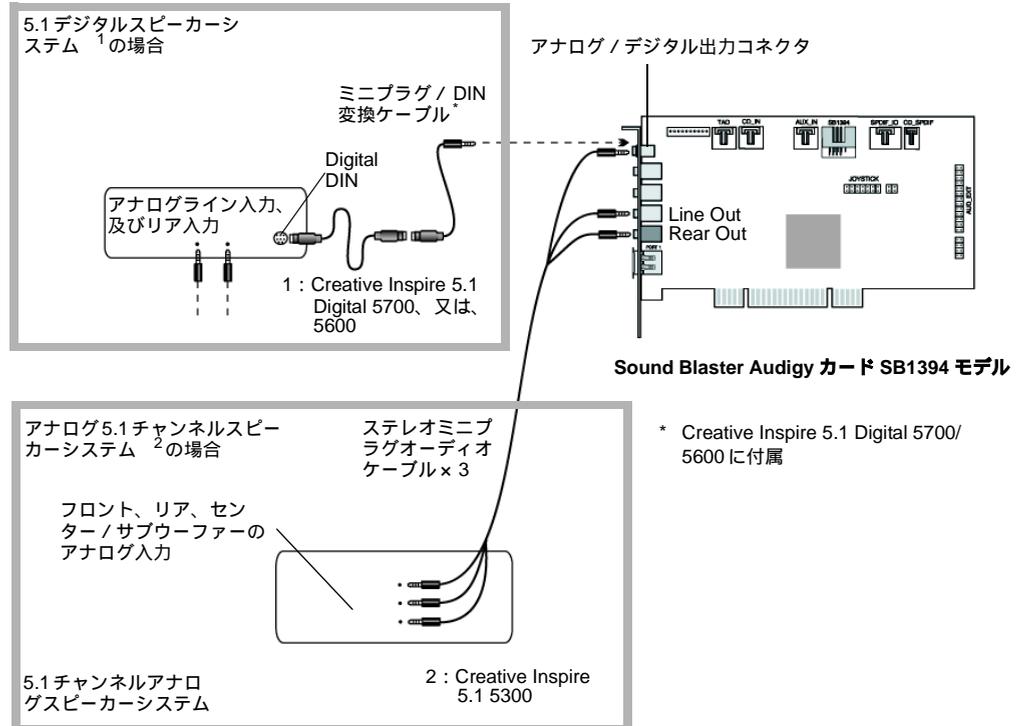


図 1-9 Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルとスピーカーシステムの接続

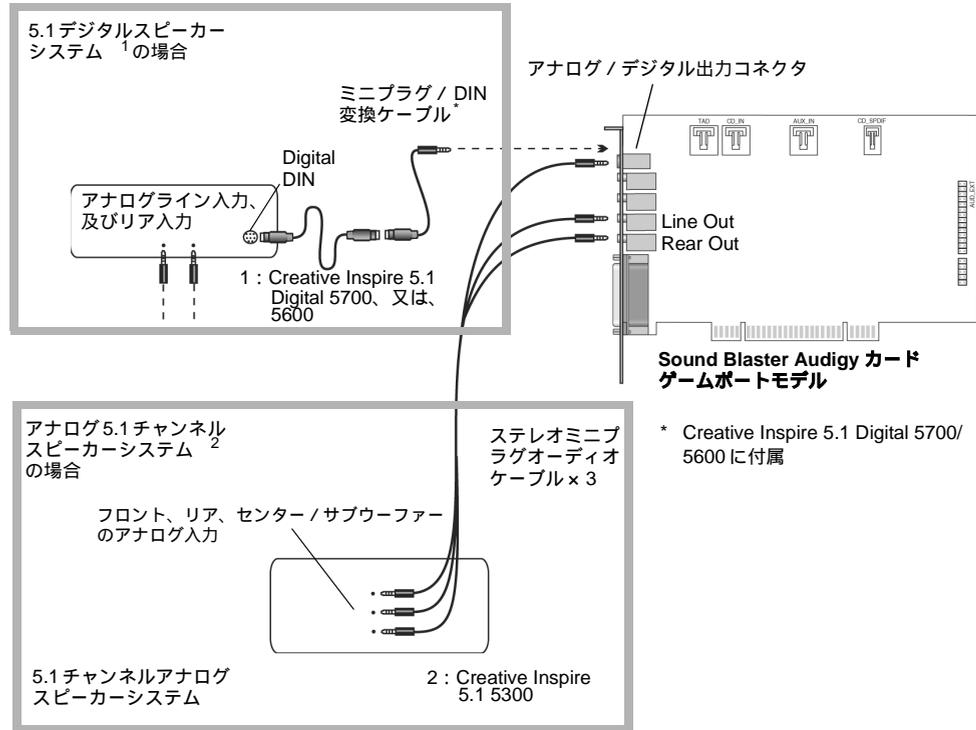


図 1-10 Sound Blaster Audigy カードゲームポートモデルとスピーカーシステムの接続

AVアンプ (6チャンネル) への接続

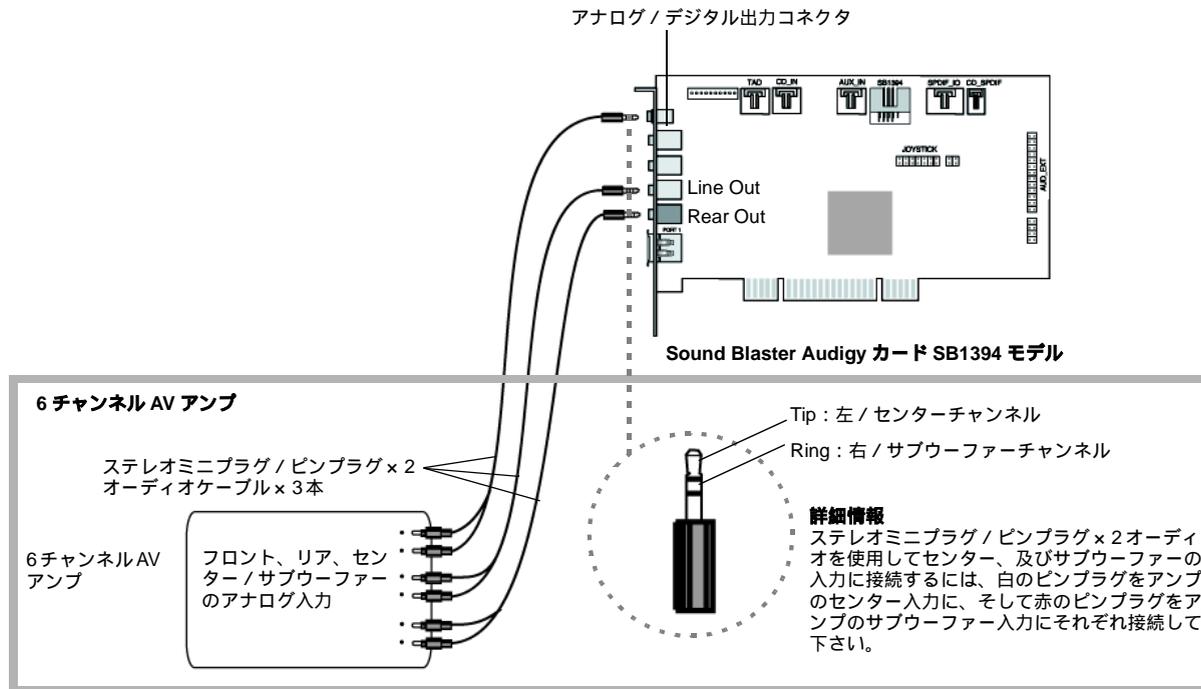


図 1-11 Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデルと 6 チャンネル AV アンプとの接続

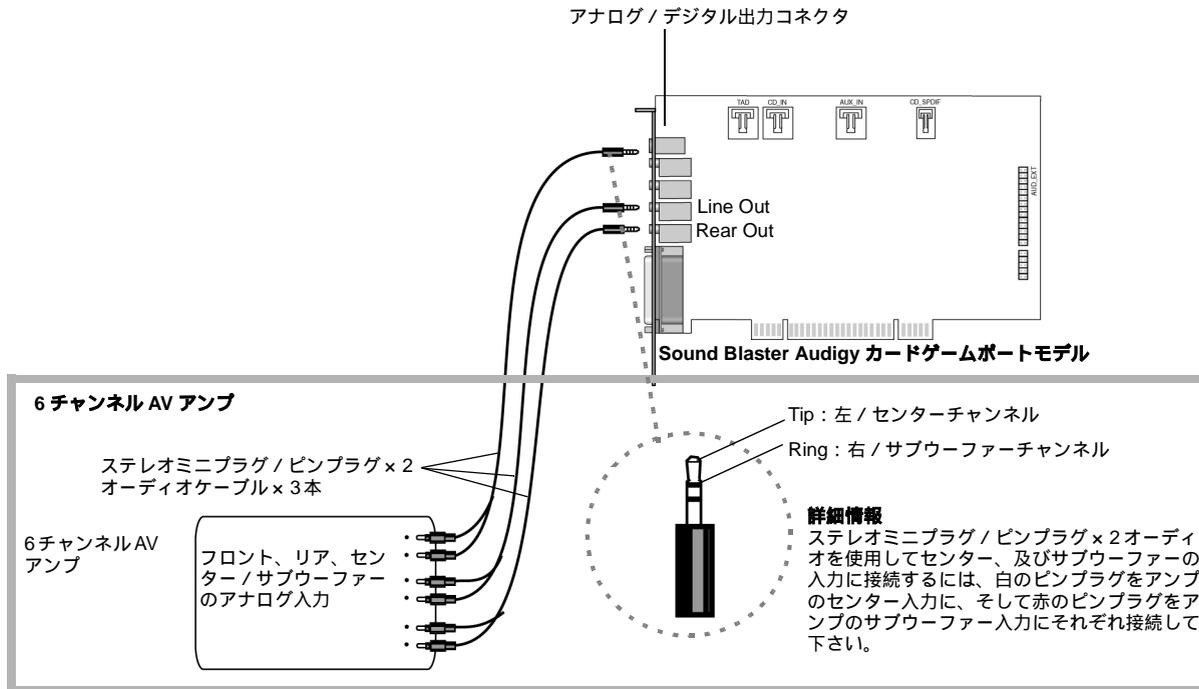


図 1-12 Sound Blaster Audigy カードゲームポートモデルと 6 チャンネル AV アンプとの接続

スピーカーの配置

6台のスピーカーを使用する場合、リスナーを中心に正方形の四隅の位置に設置し(図 1-13 に示すように)、スピーカーがリスナーの方に向くようにします。コンピューターのモニターがフロントスピーカーからリスナーへの音が伝わる経路を妨げないようにします。最も気に入った位置になるまでスピーカーの相対的な位置を調整します。サブウーファーも使う場合には、最高の低音体感が得られるようにする為に、部屋の角に置きます。

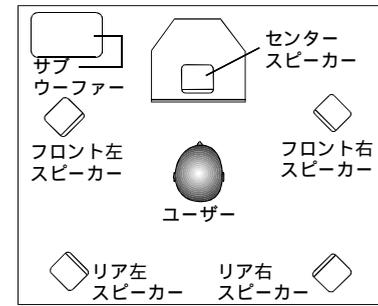


図 1-13 推奨される 6 スピーカー構成のスピーカー配置

2 ソフトウェアのインストール

この章では、Sound Blaster Audigy ソフトウェアのインストール方法について説明します。

ソフトウェアのインストール

ドライバとアプリケーションのインストール



インストール時、Windows 98 SE のユーザーは、Windows 98 SE インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入するように促される場合があります。指示に従いインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入して、[OK] ボタンをクリックして下さい。

ご使用中のシステムに付属の CD が Windows 98 SE の CD ではなくリカバリー CD の場合や、インストールの際に Windows 98 SE のキャビネットファイルをシステムにインストールした場合は、[参照] ボタンをクリックして、C:\Windows\Options\Cabs のファイルを探し出して下さい。適切な .cab ファイルが見つかったら、[OK] ボタンをクリックして下さい。

Sound Blaster Audigy を使用するには、デバイスドライバとアプリケーションをインストールする必要があります。ドライバ、及びバンドルされたアプリケーションをインストールするには、以下の手順に従って下さい。以下のおおまかなインストールの手順は、サポート対象の全ての Windows に基本的に（一部手順の異なる場合があります）共通です。

インストール CD は、マルチ言語版となっており、日本語版ソフトウェアをインストールする場合には、インストールメニューから [日本語] を選択する必要があります。日本語版ソフトウェアの中には一部、英語版プログラムが含まれています。尚、テクニカルサポートは、日本語版ソフトウェアをインストールした場合のみに限らせていただきます。

1. Sound Blaster Audigy カードを取り付けたら、コンピューターの電源を入れます。
Windows によって、自動的にオーディオカードとデバイスドライバが検出されます。
2. オーディオドライバのインストールを促すダイアログボックスが表示されたら [キャンセル] ボタンをクリックします。
3. Sound Blaster Audigy インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストール CD は Windows のオートランに対応しているため、プログラムが自動的に起動します。自動的に起動しない場合には、CD-ROM の自動検出機能を有効にしてください。詳細については、B-1 ページの「ソフトウェアのインストールに関する問題」を参照して下さい。
4. 画面に表示される指示にしたがって、インストール作業を進めます。
5. システムを再起動するように促されたら、システムを再起動します。



実際のインストール作業中に表示される画面等は、お使いの Windows の種類やバージョンによって、異なる場合があります。

アプリケーションの削除、及び再インストール



Windows の種類によって [コントロールパネル] を表示させる操作が異なります。お使いの Windows 上での操作の詳細は、Windows のオンラインヘルプをご覧ください。



Windows の種類によって [アプリケーションの追加と削除] ダイアログに表示されるボタン名が異なります。お使いの Windows のボタン表示に従って操作して下さい。

問題の解決やコンフィギュレーションの変更、あるいはバージョン更新のためアプリケーションを再インストールする前に、下記の手順でアプリケーションを完全に削除して下さい。この手順は全ての Windows オペレーティングシステムに共通です。

1. サウンドカードのアプリケーションを起動している場合は終了させます。アンインストール時に起動しているアプリケーションは削除されません。
2. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックしていきます。
3. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
4. [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されたら、Sound Blaster Audigy を選択し、[追加 / 削除] ボタンをクリックします。
5. [Install Shield Wizard] ダイアログボックスが表示されたら、[削除] チェックボックスをクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。全てのアプリケーションが削除されます。
6. [OK] ボタンをクリックし、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。
7. ダイアログに従ってコンピューターを再起動します。

この [Install Shield Wizard] では [削除] 以外にも [変更] 及び [修正] も出来ます。詳細は [Install Shield Wizard] の画面上の説明をご覧ください。

Windows 2000 (Service Pack 2) のアップデート

Windows 2000 Service Pack 2 では、ソフトウェア DVD 再生用に AC-3 SPDIF 出力 (waveOut を利用した非 PCM) のサポートが強化されています。次の Web サイトのアドレスをクリックして、Microsoft の Windows 2000 Web サイトに移動し、Windows 2000 Service Pack 2 をダウンロードして下さい。このサービスパックをインストールすることで、AC-3 SPDIF を利用出来るようになり、さらに、Windows 2000 OS のその他の問題が修正されます。

<http://microsoft.com/japan/windows2000/server/evaluation/news/bulletins/sp2.asp>

Windows 98 SE のアップデート

1394 ストレージの 補助機能

Safe Removal コーティリティは、プラグアンドプレイストレージデバイスが切断される前にデバイスを安全に停止させることが出来ます。又、周辺デバイスの予期しない取り外しに関連する部分について 1394 ドライバを更新します。このコーティリティは以下の Web サイトからダウンロード出来ます。1394 ストレージデバイスを無効にして、すぐにコンピューターとの接続を外した場合、ストレージデバイスを破損させる危険性があります。

このストレージデバイスドライバを利用することで、周辺機器を保護するばかりでなく、約 300% という大幅な性能の向上も期待出来ます。

<http://www.microsoft.com/JAPAN/win98/downloads/contents/WURecommended/1394/default.htm>

デジタルビデオ アップデートの インストール

DirectX 8.0、又は、8.0a のランタイムライブラリーをインストールしている場合には、デジタルビデオ用の最新のアップデートをインストールして下さい。このアップデートには、1394 デジタルビデオ機器ユーザーに対する PAL のサポートと、改善されたデバイスサポートが含まれています。このアップデートは Windows 98 SE と Windows 2000 に対応しています。又、Windows Me OS にもマイナーな改善が施されます。このアップデートをインストールするには、次の Web サイトに移動して下さい。

<http://www.microsoft.com/downloads/release.asp?ReleaseID=28377>

3

Sound Blaster Audigy のアプリケーション

この章では、Sound Blaster Audigy を最大限に活用する方法について説明します。

Sound Blaster Audigy のアプリケーション

Creative Sound Blaster Audigy オーディオアプリケーション



実際のパッケージに付属するアプリケーションは、この章で説明するものと異なる場合があります。

Sound Blaster Audigy には、カードの機能を活かすことのできるアプリケーションが付属しています。

- Creative Diagnose
- Creative Surround Mixer
- Creative AudioHQ
- Creative Wave Studio
- Creative PlayCenter
- Creative Recorder
- Creative Restore Defaults
- Creative MiniDisc Center

Creative Diagnose

Creative Diagnose を使うと、使用する Sound Blaster Audigy カードの Wave、MIDI、又は、CD のオーディオ再生、録音、及びスピーカー出力に関する機能を短時間でテスト出来ます。

Creative Surround Mixer



Surround Mixer の設定を元に戻すには、[スタート] メニューから [プログラム] の [Creative] をポイントします。そして、[Sound Blaster Audigy] をクリックし、[Creative Restore Defaults] をクリックします。

Creative Surround Mixer は、以下の操作でメインアプリケーションとして使用出来ます。

- スピーカーのテスト
- EAX対応オーディオエフェクツの適用
- さまざまなオーディオ入力ソースからのサウンドのミキシング
- オーディオエフェクツの設定

Surround Mixer には2つのモードがあります。[ベーシックモード] 又は、[アドバンスドモード] をクリックすることで、各モードを切り替えます。

ベーシックモードでは、Mixer パネルが表示されます。ここでは、以下の操作を実行出来ます。

- 再生、又は、録音時におけるさまざまなオーディオ入力ソースからのサウンドのミキシング
- ボリューム、バスとトレブルのレベル、バランス、及びフェードのコントロール

アドバンスドモードでは、Surround Mixer と Mixer パネルが表示されます。Surround Mixer では、以下の操作を実行出来ます。

- オーディオエフェクツの選択
- スピーカー出力の指定
- スピーカーテストの実行

Creative Surround Mixer の使い方に関する詳細は、Creative Surround Mixer の[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative AudioHQ

AudioHQ は、Creative オーディオソフトウェアのコントロールセンターです。

AudioHQ インタフェイスで、コンピューターに取り付けられたオーディオデバイスのオーディオプロパティの表示、試聴、設定を行うことの出来るコントロールアプレットを利用出来ます。

AudioHQ のメインウィンドウでも、コントロールパネルと同じ要領で、コントロールアプレットを大小のアイコン形式で表示したり、一覧、又は、詳細な一覧で表示出来ます。又、アプレットビューでは、全ての項目を選択したり、選択の解除を行うことが出来ます。

Creative AudioHQ の使い方に関する詳細は、Creative AudioHQ の[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

SoundFont コントロール

Creative SoundFont コントロールを使うと、SoundFont、DLS、Wave ファイルやインストゥルメントで MIDI バンクを設定したり、キャッシュアルゴリズムやスペースを設定したり出来ます。

SoundFont コントロールの使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

デバイス コントロール

デバイスコントロールで Sound Blaster Audigy のハードウェア設定を行うことが出来ます。

デバイスコントロールの使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative キーボード

Creative Keyboard は、MIDI デバイスで作成された譜面をオーディションしたり再生することの出来るバーチャルキーボードです。

MIDI 入力

外付けの MIDI 入力デバイスを使って、MIDI バンクやインストゥルメントを試聴することも出来ます。まず、MIDI 入力デバイスを SB Audigy に接続し、Creative キーボードでそのデバイスを選択します。

詳細は[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

EAX コントロール

EAX コントロールにより、Sound Blaster Audigy エフェクツエンジンの設定が可能となります。

まるでその場に居合わせたかのようなサウンドに驚かれるかもしれません。イメージが浮かびそれが本当に目前に広がっているように感じられるでしょう。ゲームや、ミュージック、その他のオーディオ用途においてリアルな音声とインタラクティブなオーディオ体験を再現するコンピューター業界で初めてのシステムです。オーディオエフェクツによってコンピューターがホームシアター品質を上回るほどの能力を獲得します。このようなシステムから発せられるサウンドに夢中になると、非常に多彩なイメージネーションの中で、目の前に実物が浮かび上がります。オーディオエフェクツの効果は、今日のサラウンドサウンドと 3D ポジショナルオーディオを越えるものであり、部屋の大きさや、音響特性、リバース、エコー、その他の多様なエフェクツを考慮することで、実世界の音響空間をモデル化することに成功しています。

EAX コントロールの使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative Wave Studio

WaveStudio は、以下のサウンド編集機能を簡単に実行することが出来る Windows ベースのアプリケーションです。

- 8ビット（テープ品質）、及び16ビット（CD品質）Waveデータを再生、編集、録音。
- さまざまな特殊効果や、ラップ、リバース、エコー、ミュート、パン、切り取り、コピー、貼り付けなどの編集操作を使用してWaveデータを強化、あるいは独自のサウンドを作成。
- 複数のWaveファイルを同時に開いて編集。
- 未加工のデータファイル（.RAW）をインポート、及びエクスポート

Creative WaveStudio の使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative PlayCenter

Creative PlayCenter は、大変使い易いオーディオ CD、及びデジタルオーディオ（MP3 や WMA など）プレイヤーです。コンピューターに保存されたお気に入りのデジタルオーディオファイルの管理に加え、オーディオCDのトラックを圧縮デジタルオーディオファイルにリッピングするためのMP3/WMA統合エンコーダーにもなります。最大で通常の再生速度の9倍、320kbps でトラックをエンコードすることが出来ます。

Creative PlayCenter の使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative Recorder

Recorder により、マイクやオーディオCDといった、さまざまな入力ソースのサウンドやミュージックを録音し、Wave ファイル（.wav）として保存することが出来ます。

Recorder の使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

Creative Restore Defaults

Creative Restore Defaults は、オーディオ設定を全てデフォルトの設定に戻すことが出来ます。

Creative MiniDisc Center

Creative MiniDisc Center は、MiniDisc (MD) レコーダー等のデジタルレコーダーに録音するためのソフトウェアです。

MiniDisc Center により、次のことが出来ます。

- 異なるオーディオフォーマットの気に入った曲を集めたアルバムの制作。
- トラック間にプリセットした長さの無音の間隔時間を自動的に挿入。
- 個人用アルバムの再生やMDレコーダーでの録音。

Creative MiniDisc Center の使い方に関する詳細は、[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

4 アプリケーションの使用

この章では、コンテンツの作成、ゲーム、エンターテインメントの用途でのアプリケーションを使用すればよいかを説明します。

アプリケーションの使用

Sound Blaster Audigy は、高品位のマルチメディア再生、デジタルエンターテインメント、コンテンツ作成、インターネットエンターテインメント、及びゲームの用途で利用出来ます。以降の節では、それぞれのニーズに最も適したアプリケーションについて説明します。

マルチメディアの再生

DVDの鑑賞



- ソフトウェアDVDデコーダー/プレイヤーによっては、SPDIF出力をサポートしていても、最大5.1チャンネルのデコードに対応しないものがあります。このような場合、SPDIF出力機能を有効にすることで、Sound Blaster Audigy に Dolby Digital 信号をデコードさせることが出来ます。

外部 Dolby Digital (AC-3) デコーダーがあれば、Sound Blaster Audigy に対応し、且つ AC-3 の SPDIF 出力をサポートしたソフトウェア DVD プレイヤーを使用することで、DVD ムービーの Dolby Digital オーディオコンテンツを楽しむことが出来ます。

しかし外部 Dolby Digital (AC-3) デコーダーがなければ、まず DVD-ROM ドライブを用意し、Creative Inspire 5.1 5300 スピーカーなど、最大6チャンネルをサポートするスピーカーセットをそろえる必要があります。そして、Sound Blaster Audigy に対応し、且つ AC-3 の SPDIF 出力をサポートしたソフトウェア DVD プレイヤーを使用します。

さらに Creative Surround Mixer で、Dolby Digital (AC-3) デコード機能を有効にします(カードによっては、この機能をサポートしていない場合があります)。

詳細については、Creative Surround Mixer の[オンラインヘルプ](#)を参照して下さい。

同時にソフトウェア DVD デコーダー/プレイヤーで SPDIF 出力、又は、それに相当する機能を有効にします。

MP3/WMA ファイルの再生

Creative PlayCenter は、MP3/WMA ファイルの再生をサポートしています。



Wave/CD Audio ファイルの再生

Creative PlayCenter を使用することで、Wave ファイル、及び CD Audio ファイルの両方を再生出来ます。WAV は、Windows OS プラットフォームで動作するデジタルオーディオファイル形式です。CD Audio は、CD-ROM ドライブで再生可能なオーディオ CD のデータです。

MIDI ファイルの 再生

MIDI (*.MID) は、ミュージックシンセサイザーで演奏されるミュージックファイル形式です。Creative PlayCenter か、MIDI シーケンサソフトウェアを使用して MIDI ファイルを演奏出来ます。

デジタル エンターテイン メント

サラウンド ムービーの鑑賞

DVD ムービーエンターテインメントを楽しみたい方は、高音質のスピーカーを使用して下さい。Sound Blaster Audigy に 5.1 チャンネルスピーカーシステムを接続する場合は、Creative Surround Mixer でスピーカー構成を設定します。Inspire 5.1 5300 スピーカーシステムをお勧めします。

自分だけの アルバムの編集

Creative PlayCenter を使って、CD Audio ファイル、WAV ファイル、MIDI ファイルを含むアルバムを編集出来ます。

コンテンツの 作成

ボイスエフェクツの 適用

EAX コントロールを使用すれば、自分の歌声を録音し、それを修正したり、さらに特殊なエフェクツを適用することも出来ます。EAX コントロールは、Creative Surround Mixer からアクセス出来ます。

サウンドと エフェクツの録音

Creative Recorder は、ミキサー設定について気にすることなく、どんなオーディオソースでも簡単に録音出来るツールです。又、任意のオーディオエフェクツを録音出来ます。

高度なコンテンツ の作成

デジタルハード ディスク録音

Sound Blaster Audigy とともに Creative Wave Studio を使用すれば、コンピューターでデジタルで録音 / 編集 (16 ビット、48kHz) を行うことが出来ます。DAT デッキなど、任意の SPDIF 互換デバイスを接続し、Creative Surround Mixer で [CD (デジタル)] を選択します。

多数のエフェクツの 作成

Sound Blaster Audigy には、プログラム可能なさまざまなエフェクツが付属しています。Creative Surround Mixer からアクセス出来る EAX コントロールで、リバーブやその他の特殊なエフェクツを作成出来ます。

インターネット エンターテイン メント

CDのオーディオ トラックのMP3形式 へのエンコード

Creative PlayCenter で、好きな CD ミュージック全てをコンピューターのハードディスクにエンコードして記録すれば、自分専用のミュージックリストデータベースの出来上がりです。

MP3 ミュージックの ダウンロードと再生

Creative PlayCenter では、インターネット上のさまざまなサイトからダウンロードした MP3 ミュージックを再生出来ます。

EAX ADVANCED HD を適用した MP3 ミュージックの再生

Creative PlayCenter で「コンサートホール」や「バスルーム」などの環境を追加すれば、MP3 再生に陰影のある多次元的な音響リアリズムを付与出来ます。この拡張された MP3 ミュージックは、Sound Blaster Audigy カードを所有しない人でも共有出来ます。



ゲーム リファレンス

EAX ADVANCED HD サポートの活用

トップゲームデザイナーの手によるさまざまな EAX ADVANCED HD タイトルを楽しみましょう。その仮想現実の世界に魅せられることでしょう。互換性を有する全タイトルリストは、<http://www.eax.creative.com> で参照出来ます。

DirectSound3D サポートの活用

Sound Blaster Audigy では DirectSound3D (DS3D) ゲームがサポートされます。3D 空間内で定位するサウンドがゲーム体験を驚くほど豊かにします。

A3D 1.0 サポートの 活用

Sound Blaster Audigy によって A3D コールが DirectSound3D に変換されるので、A3D ゲームを楽しむことも出来ます。

非3Dゲームのため の環境の カスタマイズ

Creative Surround Mixer からアクセス出来る EAX コントロールパネルで、非 EAX ADVANCED HD ゲーム用にカスタマイズした環境を構築します。

Sound
BLASTER

A

仕様

ここでは、Sound Blaster Audigy カードの仕様を示します。

仕様

この項では、Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデル、Sound Blaster Audigy カードゲームポートモデル、及びジョイスティック / MIDI ブラケット(Sound Blaster Audigy SB1394 モデル用)の仕様を示します。

特徴

PCI バス マスタリング

- PCIバージョン2.1 互換
- バスマスター方式により、オーディオストリーミングのレイテンシーが解消されシステムの動作が高速化

Audigy プロセッサ

- ハードウェアアクセラレーションにより向上したデジタルエフェクツ処理
- 192dBのダイナミックレンジを維持した32ビットのデジタル処理
- 最高品質のオーディオ再生を実現する、特許を受けた8ポイント補間
- ハードウェアによる64ボイスのウェーブテーブルシンセサイザー
- プロ品質のデジタルミキシング、及びイコライザー処理
- 使用可能な空いているメインメモリーの容量に応じて割り当てられる SoundFont バンク

高品位オーディオ 処理

- CD オーディオ、ライン入力、Aux、TAD、及びPCスピーカー、マイクロフォンなどのアナログソースをAC'97 Codecによって内部デジタルソースとミキシング
- それぞれ任意のサンプリングレートで64のオーディオチャンネルを再生
- Audigy Digital Mixer内の全デジタルソースに対する32ビットミキシング
- アナログ入力を48kHz/24ビットでアナログデジタル変換
- デジタルソースを48kHz/24ビットでデジタルアナログ変換してアナログ5.1スピーカーに出力
- 8、11.025、16、22.05、24、32、44.1、及び48kHzの16ビットレコーディングサンプリングレート

プロ仕様のデジタルオーディオ処理

- 最大24ビット / 96kHzの入力信号までをサポート
注意: 24ビット / 96kHzでのレコーディング(録音)には対応していません。
- ドルビーデジタル(AC-3)信号のソフトウェアデコードをサポート(一部のモデルは非サポート)
- 24ビットのデジタル出力(サンプリングレートは44.1kHz、48kHz、96kHzから選択可能)
注意: Microsoft DRM(Digital Rights Management)技術で作成、保護されたデジタルオーディオコンテンツには対応しません。
- 6チャンネルSPDIF出力(デジタルDIN接続時)が可能
- ケーブル接続の手間を省くSPDIF入出力(バイパス)のソフトウェアによる切り替え
- ASIO対応による低レイテンシーマルチトラックレコーディング

柔軟な Mixerコントロール

- CDオーディオ、ライン入力、Aux、TAD、PCスピーカー、マイクロフォン、Wave/DirectSoundデバイス、MIDIデバイス、CD Digital(CD SPDIF)、ライン入力2、マイクロフォン2、Aux2、SPDIF Inのソフトウェアコントロール
- アナログミックス(CDオーディオ、ライン入力、Aux、TAD、PCスピーカーのミックス)、マイクロフォン、Wave/DirectSoundデバイス、MIDIデバイス、CD Digital(CD SPDIF)、ライン入力2、マイクロフォン2、Aux2、及びSPDIF Inのソフトウェアレコーディングコントロール
- 録音時に使用する入力ソースの切り替え、及びさまざまなオーディオソースのミキシング
- 調整可能なマスタボリュームコントロール
- バスとトレブルを個別にコントロール
- フロントとリアのバランスをコントロール
- ミュート/パンコントロール



ドルビーデジタル (AC-3) デコーディング

- ドルビーデジタル (AC-3) のソフトウェアデコーディング、又は、ドルビーデジタルのパススルー
- Bass Redirection : 小さなサテライトスピーカーを使用したシステムでの重低音再生を強化
- クロスオーバーパス周波数 (10 ~ 200Hz) (個別のサブウーファーユニットに合わせて低音レベルを調整可能)
- 調整可能な Center、及び LFE のレベルコントロール

Creative Multi Speaker Surround™ (CMSS™)

- マルチスピーカーテクノロジー
- プロ品質のパンニング、及びミキシングアルゴリズム
- 複数のサウンドを個別に動かし、リスナーの周囲に定位可能

SB1394™ 互換 : Sound Blaster Audigy SB1394 モデルのみ

- IEEE 1394a 仕様に準拠
- 100Mbps、200Mbps、400Mbps のデータ伝送レートをサポート
- IEEE 1394 互換のデバイスをダイジェンチェーン構成で最大 63 個までサポート

接続性

Sound Blaster Audigy カード SB1394 モデル

オーディオ入力



カードのモデルによっては、いくつかのコネクタがついていないものもあります。

- リアブラケット上のステレオミニジャックによるラインレベルのアナログライン入力
- リアブラケット上のステレオミニジャックによるモノラルマイクアナログ入力
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルの CD_IN アナログ入力
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルの AUX_IN アナログ入力
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルの TAD アナログ入力
- カード上の2ピン Molex コネクタによる CD_SPDIF(デジタル)入力

オーディオ出力

- リアブラケットのアナログ / デジタル出力(ミニジャック)
 - アナログ出力 : センターチャンネル、及びサブウーファーチャンネル
 - デジタル出力 : フロント、リア、センター、及びサブウーファーのデジタル DIN 出力
- リアブラケットのステレオミニジャックによる2系統のラインレベルアナログ出力 (ライン出力、リア出力)
- ライン出力(LIN_OUT1)はステレオヘッドフォン(インピーダンス32)をサポート

SB1394 インタフェイス



6ピンSB1394ポート(コネクタ)の最大出力は2Wです。IEEE 1394ハードディスクやCD-RWドライブなど電力消費の大きいデバイスはデバイス自身で電源を持たない場合にはこのポートに接続出来るのは1台だけです。

- カード上に1個の2×5ピン内部SB1394ポート(コネクタ)を装備
(Audigyドライブへ接続可能なモデルのみ)
- リアブラケットに1個の6ピンSB1394(IEEE1394)ポート(コネクタ)を装備

インタフェイス



カードのモデルによっては、いくつかのコネクタがついていないものもあります。

- VOL_CTRL 1×4コネクタ
- PC_SPK (PCスピーカー)1×2コネクタ
- 2×20ピンAUD_EXTヘッダー(光デジタルインタフェイスカードへ接続可能なモデルのみ)
- 2×8ピンJOYSTICKヘッダー(ジョイスティック/MIDIブラケットの接続用)

Sound Blaster Audigy カード ゲームポートモデル

オーディオ入力



カードのモデルによっては、いくつかのコネクタがついていないものもあります。

- リアブラケット上のステレオミニジャックによるラインレベルのアナログライン入力
- リアブラケット上のステレオミニジャックによるモノラルマイクアナログ入力
- カード上の4ピンMolexコネクタによるラインレベルのCD_INアナログ入力
- カード上の4ピンMolexコネクタによるラインレベルのAUX_INアナログ入力
- カード上の4ピンMolexコネクタによるラインレベルのTADアナログ入力
- カード上の2ピンMolexコネクタによるCD_SPDIF (デジタル) 入力

オーディオ出力

- リアブラケットのアナログ / デジタル出力(ミニジャック)
 - アナログ出力 : センターチャンネル、及びサブウーファーチャンネル
 - デジタル出力 : フロント、リア、センター、及びサブウーファーのデジタル DIN 出力
- リアブラケットのステレオミニジャックによる2系統のラインレベルアナログ出力 (ライン出力、リア出力)
- フロントライン出力でステレオヘッドフォン(32)をサポート

インタフェイス



カードのモデルによっては、いくつかのインタフェイスがついていないモデルもあります。

- VOL_CTRL 1 × 4ピンヘッダー
- PC_SPK (PCスピーカー) 1 × 2ピンヘッダー
- AUD_EXT 2 × 20ピンヘッダー (Audigy ドライブへの接続可能なモデルのみ / アップグレードオプション)
- 15ピンジョイスティック / MIDIコネクタ(リアブラケット)

Sound
BLASTER

B トラブルシューティング

ここでは、インストール時、又は、通常の使用時に発生する可能性のある問題の解決方法を説明します。

トラブルシューティング

この付録では、サウンドカードの取り付け時、又は、通常の使用時に発生することがある問題のいくつかを解決するためのヒントを提供します。

ソフトウェアのインストールに関する問題



Windows の種類によって [コントロールパネル] を表示させる操作が異なります。お使いの Windows 上での操作の詳細は、Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

CD-ROM をドライブに挿入しても、自動的にインストールプログラムが起動しない。

Windows の自動再生機能が有効になっていない可能性があります。

[マイ コンピュータ] のショートカットメニューを使用してインストールプログラムを開始するには

1. Windows デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
2. [マイ コンピュータ] ウィンドウで、CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックします。
3. ショートカットメニューで [自動再生] をクリックし、画面の指示に従います。

自動挿入機能を使用して自動再生を有効にするには

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。
2. [コントロールパネル] ウィンドウの [システム] アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ] ダイアログボックスの [デバイスマネージャ] タブをクリックし、CD-ROM ドライブを選択します。
4. [プロパティ] ボタンをクリックします。
5. [プロパティ] ダイアログボックスの [設定] タブをクリックし、[自動挿入] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. [OK] ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

サウンドに関する 問題

オーディオファイルが再生されたとき、予期しない過剰な環境サウンド、又は、エフェクトが生じた。

不適切な環境プリセットを選択していませんか？

適切な環境に切り換えるには

1. [AudioHQ] から [EAX コントロール] を開きます。
2. EAX プリセットの [No effects]、又は、適当なプリセットを選択します。

ヘッドフォンから音が出ない。

以下を確認して下さい。

- ヘッドフォンがライン出力 (LIN_OUT1) ジャックに接続されていること。
- サラウンドミキサーのメインデッキで、スピーカーの選択が「ヘッドフォン」になっていることを確認します。
- サラウンドミキサーのメインデッキで、レコーディングソースの選択が「再生リダイレクト」になっていることを確認します。

4スピーカー配置では、リアスピーカーからの音が出ない。

以下を確認して下さい。

- リアスピーカーが、Audigyカードのリア出力 (LIN_OUT2) ジャックに接続されていること。

問題を解決するには

1. Surround Mixer で、再生しているソースのミュートチェックボックスが解除され、そのソースが有効となっていることを確認します。
 2. 録音のソースと同じソースを選択します。
- 環境を変更した場合は、アクティブなソースのミュートが解除されていることを Surround Mixer で確認して下さい。

スピーカーから音が出ない。

以下を確認して下さい。

- まず最初に、スピーカーが Sound Blaster Audigy カードの出力に接続されていることを確認します。次に、正しいソースのミュートが解除されていることを Mixer デッキで確かめます。それでもまだ音が聞こえない場合は、ボリュームスライダーの上にある赤いプラス記号をクリックし、[デジタルアウトのみ] チェックボックスが選択されているかどうか確認します。このチェックボックスが選択されている場合は、デジタルアウトのみの設定になっているので、Sound Blaster Audigy カードからの音を聞くにはデジタルスピーカーを接続しなければなりません。詳しくは、Surround Mixer オンラインヘルプの [デジタルアウトのみ] の項を参照して下さい。
- Audigy Drive にヘッドフォンが接続されている場合は、取り外して下さい。あるいは、AudioHQ の [デバイスコントロール] を開き、[Audigy Drive] タブをクリックして、[ヘッドフォン使用時はスピーカーへの出力をミュートする] チェックボックスの選択を取り消して下さい。

.wav ファイルや MIDI ファイル、AVI クリップなどのデジタルファイル再生時、オーディオが出力されない。

可能性のある原因は、以下のとおりです。

- スピーカーのボリュームつまみが適切に設定されていない。
- 外付けアンプ、又は、スピーカーが誤ったジャックに接続されている。
- ハードウェアの競合が起こっている。
- Surround Mixer でスピーカーが正しく選択されていません。
- EAX コントロールの [マスター] タブ、又は、[ソース] タブ、あるいはその両方のページで、[オリジナルサウンド] のエフェクト量が 0% に設定されている。

以下を確認して下さい。

- スピーカーの音量コントロールノブがある場合、中程度の範囲にします。Surround Mixer を使うと、必要に応じて音量を調整出来ます。



カードが、既当するコネクタを持っていない場合には、そのコネクタは Surround Mixer に表示されません。

個別のアナログ録音ソースが Surround Mixer に表示されない。

以下に示すアナログ録音ソースが、アナログミックス（ラインイン /CD/AUX/TAD/PC スピーカー）という1つの録音コントロールにまとめられています。

- ラインイン
- CD（アナログ）
- Auxiliary
- TAD-In
- PCスピーカー

Surround Mixer で、個別のアナログ録音ソースを選択出来ない。

個別のアナログソースを録音するには

- Surround Mixer の録音パネルで、選択された録音ソースがアナログミックス（ラインイン /CD/AUX/TAD/PCスピーカー）であることを確認します。
- 録音したくないアナログソースの [ミュート] チェックボックスをオンにし、ミュートします。
- アンプ内蔵スピーカー、又は、外部アンプは、カードのライン出力（LIN_OUT1）、又は、リア出力（LIN_OUT2）ジャックに接続します。
- カードと周辺機器が競合を起こしていないこと。B-10ページの「I/Oアドレスの競合の解決方法」を参照して下さい。
- スピーカー、又は、ヘッドフォンに対応する [スピーカー構成] の選択。
- [EAXコントロール] ダイアログの [マスター] 及び [ソース] タブページのマスターオリジナルサウンドのエフェクト量スライダーが、100% に設定されている。

CD-Audio 再生時、オーディオが出力されない。

問題を解決するには

- CD-ROMドライブのAnalog AudioコネクタとサウンドカードのCD Inコネクタが接続されていることを確認します。

ソースをパニングすると音が消えることがある。

この状態は、デジタルアウトのみの設定で、Surround Mixer 以外のソフトウェアミキサアプリケーション（例えば、Windows Volume Control アプリケーション）を使って、音源の左右バランスを、Surround Mixer のメインデッキの音源をパンする位置と比較して反対側に設定したときに発生します。例えば、Windows Volume Control の CD オーディオバランスが左側で、Surround Mixer で CD オーディオを右側にパンするような場合です。

問題を解決するには

- その Surround Mixer 以外のミキサーを開き、全てのオーディオ入力ソースのバランスを中央に戻します。これで、Surround Mixer でソースをパニングしても音が消えることはなくなります。

不十分な SoundFont キャッシュ



容量の小さい SoundFont の使用は、音質の低下とトレードオフの関係にあります。

SoundFonts をロードするためのメモリーが不十分である。

SoundFonts に割り当てられたメモリーが不十分なまま、SoundFont 互換 MIDI ファイルがロードされたり再生されていると、この状態になることがあります。

SoundFont キャッシュを多く割り当てるには

- [SoundFont コントロール] ダイアログのオプションタブページで、SoundFont キャッシュスライダーを右に移動します。

割り当てられる SoundFont キャッシュは、コンピューターの使用可能なメインメモリーに依存します。

コンピューターの使用可能なメインメモリーがまだ不足している場合

- [SoundFont コントロール] ダイアログの設定バンクで、[バンクの選択] ボックスの SoundFont バンクを容量の小さいものに変更します。

ジョイスティック に関する問題



Windows の種類によって [コントロールパネル] を表示させる操作が異なります。お使いの Windows 上での操作の詳細は、Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

ジョイスティックが動作しない。

Sound Blaster Audigy カードのジョイスティックポートとコンピューターのジョイスティックポートが競合を起こしています。

問題を解決するには

- サウンドカードのジョイスティックポートを無効にし、代わりにコンピューターのジョイスティックポートを使用して下さい。
 1. [スタート] [設定] [コントロール パネル] の順にクリックしていきます。
 2. [コントロール パネル] ウィンドウで、[システム] アイコンをダブルクリックします。
 3. [システムのプロパティ] ダイアログボックスで、[デバイス マネージャ] タブをクリックします。
 4. [サウンド、ビデオ、及びゲームのコントローラ] をクリックし、次に [Creative Gameport] を選択します。
 5. [プロパティ] ボタンをクリックします。
 6. プロパティのダイアログボックスで以下のようにします。

[このハードウェア プロファイルで使用不可にする] チェックボックスがある場合

- このチェックボックスが選択され、無効になっていることを確認します。
- 7. [OK] をクリックして Windows を再起動し、変更を有効にします。
ゲームポートジョイスティックのインタフェイスが無効になっているときは、デバイスマネージャのエントリーに赤い×印が付きます。

ジョイスティックが適切に動作しないプログラムがある。

プログラムは、コンピューターのプロセッサタイミングを使用してジョイスティックの位置を計算する場合があります。プロセッサが高速だと、プログラムがジョイスティックの位置を範囲外と推定し、誤って決定してしまうことがあります。

問題を解決するには

- お使いのマザーボード / コンピューターのシステム BIOS 設定の 8 ビット I/O リカバリータイムの値を大きくします。もし可能ならば、AT バススピードを調節して、クロックを遅くするのも有効です。それでも問題が解決しない場合は、別のジョイスティックをお試し下さい。なお、BIOS の設定に関する詳細情報は、マザーボード / コンピューターの説明書をご参照下さい。

既にインストールされている他のオーディオカードが動作しない。

コンピューターに既にオーディオデバイスがインストールされている場合があります。このようなオーディオデバイスは、サウンドカードであったり、オンボードオーディオチップセットであったりします。Sound Blaster Audigy カードをインストールする前に、既存のオーディオデバイスを完全にアンインストールして削除しておくことをお勧めします。コンピューターで複数のオーディオデバイスを動作させると、機能不全の問題が生じる可能性があります。



コンピューターのシステムに重大な問題が発生する事をさける為、BIOS に関する知識が十分でない場合には、BIOS に変更を加えないで下さい。

複数のオーディオデバイスに伴う問題

このため、Sound Blaster Audigy カードのインストール中に以下の作業を行って下さい。

- コンピューターで Sound Blaster Live! シリーズがインストールされていることが検出された場合、古いオーディオデバイスを完全にアンインストールして削除するように推奨するメッセージボックスが表示されます。このボックスで [はい] ボタンをクリックし、画面の手順に従って古いオーディオデバイスの削除処理を完了します。そして、コンピューターから古いサウンドカードを取り除いて下さい。
- コンピューターにその他のサウンドカードがインストールされていることが検出された場合、完全なアンインストール処理を行い、古いオーディオデバイスを取り除くように推奨するメッセージボックスが表示されます。このボックスで [はい] ボタンをクリックし、Sound Blaster Audigy カードのインストール処理を続けます。

Sound Blaster Audigy カードのインストール後に、既存のカードの完全なアンインストール処理を行い、コンピューターからサウンドカードを取り除いて下さい。

オンボードオーディオチップセットを無効にする場合。

オンボードオーディオチップセットを無効にするには、以下の手順に従います。

1. システムを再起動します。
2. メモリーチェック中に、ご使用のマザーボードに応じて、F2 キー、又は、Delete キーを押します。BIOS セットアップメニューが表示されます。
3. チップセット機能をセットアップするための項目を選択し、Enter キーを押します。
4. Onboard Legacy Audio を選択し、Enter キーを押してオンボードオーディオチップセットを無効にします。
5. Esc キーを押し、BIOS セットアップメニューに戻ります。
6. セットアップの保存と終了を行う項目を選択し、Enter キーを押します。
7. Y キーを押し、Enter キーを押します。



BIOS のメーカーやタイプによって操作方法は異なります。具体的な操作方法は、お使いのコンピューターでご確認の上、正しく作業を行って下さい。

Sound Blaster Live! シリーズに関する問題



Windows の種類によって [コントロールパネル] を表示させる操作が異なります。お使いの Windows 上での操作の詳細は、Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

Sound Blaster Live! のアプリケーションが動作しない。

Sound Blaster Audigy と Sound Blaster Live! を同じコンピューターにインストールしようとする問題が発生します。

問題を解決するには

コンピューターから Sound Blaster Live! カードをアンインストールして取り除きます (推奨)。あるいは、Sound Blaster Live! カードを無効にします。

1. [スタート]メニューから、[設定]をポイントし、[コントロールパネル]をクリックします。
2. [コントロールパネル]ウィンドウで、[システム]アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ]ダイアログボックスで、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
4. [サウンド、ビデオ、及びゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[Creative Sound Blaster Live! Series]を選択します。
5. [プロパティ]ボタンをクリックします。
6. [~のプロパティ]ダイアログボックスで以下の操作を行います。
[このハードウェア プロファイルで使用不可にする]チェックボックスがある場合。
 - このチェックボックスをオンにしてデバイスを無効にします。
7. Windows を再起動して変更内容を反映させるために、[OK]をクリックします。

Sound Blaster Live! シリーズが無効になると、デバイスマネージャ内で該当エントリに赤い×印が付きます。

I/O アドレスの競合の解決方法



Windows 98 SE/Meのヘルプファイルにある「トラブルシューティング」の項を参照することも出来ます。

サウンドカードと別の周辺機器が同じI/Oアドレスを使用するように設定されていると、競合が発生することがあります。

I/Oアドレスの競合を解決するには、Windows 98 SE/Meのデバイスマネージャを使用して、サウンドカード、又は、アドレスの競合を起こしている周辺機器のリソース設定を変更して下さい。

どのカードが競合の原因となっているか分からない場合は、サウンドカードやその他の基本的なカード（例えば、ディスクコントローラーやグラフィックスカードなど）以外のカードを一度、全て取り外し、デバイスマネージャがコンフリクトの発生を示すまで、再度1枚ずつカードを取り付けていきます。

Windows 98 SE/Me 環境でハードウェアの競合を解決するには

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]をポイントして[コントロールパネル]をクリックします。
2. [コントロールパネル]ウィンドウの[システム]アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ]ダイアログボックスの[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
4. [サウンド、ビデオ、及びゲームのコントローラ]のエントリーから、競合を起こしているサウンドカードを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。競合を起こしているデバイスは感嘆符(!)で示されます。
5. [プロパティ]ダイアログボックスの[リソース]タブをクリックします。
6. [自動設定]チェックボックスが選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。
7. Windows 98 SE/Meがサウンドカード、及びコンフリクトを起こしているデバイスにリソースを割り当て直すことが出来るように、コンピューターを再起動します。

ソフトウェアDVDプレイヤーに関する問題

DVDムービーを見ながらオーディオ設定を変更すると（例えば6チャンネルモードとSPDIF出力モードを切り替えるなど）ソフトウェアDVDプレイヤーやサラウンドミキサーの設定は正しいにも関わらず、うまく設定変更出来ない。

問題を解決するには

ソフトウェアDVDプレイヤーをいったん終了し、起動しなおして下さい。

Windows 98 SE/ 2000/MeのDV ドライバに 関する問題



1394MSDN ドライバは、Windows XP では使用出来ません。

DV カムコーダーが正常に動作しない。

MSDV カムコーダードライバが最新バージョン (v4.10.2226) ではない可能性があります。

問題を解決するには

1. [Microsoft Web サイト](#)で、Digital Video update for DirectX 8.0 ファイル (dx80bda.exe) をダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをコンピューターにインストールします。
注意: まず、DirectX 8.0、又は、8.0a ランタイムをインストールする必要があります。

問題が依然として解消しない場合、MSDV カムコーダードライバがご使用の DV カムコーダー向けに完全に最適化されていない可能性があります。

問題を解決するには

1. DV カムコーダーの電源を入れます。
2. CD-ROM ドライブに Sound Blaster Audigy インストールCD-ROM を挿入します。
起動画面を閉じます。
3. Windows Explorer を使用して CD-ROM 内で 1394 フォルダを見つけ、DVConnect 240.exe ファイルを実行します。そして、画面の手順に従ってセットアップ処理を完了します。
Windows 98 SE を実行している場合、Windows 98 CD-ROM を挿入するように求められるかもしれません。画面の指示に従ってセットアップ手順を完了します。
4. [完了] ボタンをクリックします。
5. DV カムコーダーの電源をオフにした後、もう一度電源を入れます。

VIA チップセット のマザーボード の一部に見られ るファイル転送 の問題



Windows の種類によって [コントロールパネル] を表示させる操作が異なります。お使いの Windows 上での操作の詳細は、Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

Sound Blaster Audigy カードを VIA チップセットのマザーボードに取り付けると、ごく一部ですが次のような問題が生じる場合があります。

サイズの大きなデータを転送すると、コンピューターが反応しなくなったり(「ハング」したり)自動的に再起動されたり、あるいはデータが別のドライブから完全に転送されなかったり破損したりする。

これらの問題は、マザーボードに VIA VT82C686B コントローラーチップセットが組み込まれた、ごく一部のコンピューターに見られます。

マザーボードに VT82C686B チップセットが組み込まれているどうか確認するには

- コンピューターのマザーボードのマニュアルを参照するか、又は、
- Windows 環境の場合：

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] の順にクリックします。
2. [システム] アイコンをダブルクリックします。
3. [デバイスマネージャ] 又は、[ハードウェア] タブをクリックします。
4. [システム デバイス] アイコンをダブルクリックします。
5. 表示されたリストに、図 B-1 に示されている項目が含まれているかどうか確かめます。
6. これらの項目が表示されている場合は、コンピューターのカバーを取り外し、マザーボード上の VIA チップセットの場所を確かめます。

(1-5 ページの安全上の予防措置に注意して下さい)。
VT82C686B チップセットには、チップ上にモデル番号が記載されています。

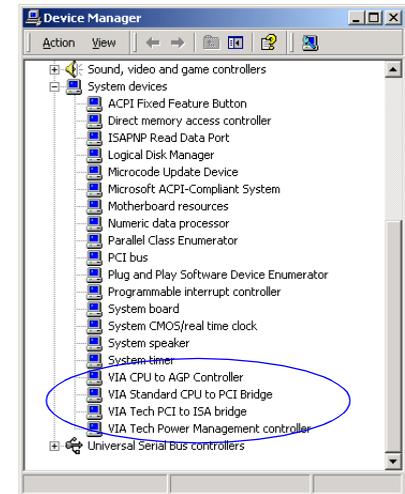


図 B-1 [デバイスマネージャ] タブ

VT82C686B チップセットが含まれている場合

- まず最初にコンピューター販売店もしくはマザーボードの製造元に連絡し、最新の解決策を入手することをお勧めします。
- 次のいずれか、又は、両方を行うことによって、上記の問題を解決することが出来ます。
 - <http://www.viatech.com> から VIA 4in1 ドライバをダウンロードする *
 - マザーボードの最新の BIOS を製造元のウェブサイトから入手する *

これらのウェブサイトのコンテンツは、他社の管理下にあります。Creative は、これらのウェブサイトから得た情報やダウンロードに対して責任を負いません。この情報は、ユーザーの便宜をはかることのみを目的として提供されています。